

第4回東京大学二宮果樹園跡地利活用検討委員会資料

前回までの意見	町の見解
<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアの募集は、草刈りだけでなく建物の補修なども進めた方が良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建物補修に関するボランティアについては、建物を将来的に利用するか検討がされていないこと及び利用にあたっては、安全性確保のための耐震診断及び改修が必要なため、平成25年度については、草刈りのボランティアを先行して募集する。 ただし、今後の検討によって建物を維持管理する方向性が確定した時点で、再度、ボランティアの活用等について検討していく。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民の意識を高めるためにも、いろいろな団体などを呼んだ方が良い。 ○ 皆さんに参加してもらい、平成26年に意見を反映できる仕組みをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広く皆さんに町の土地であることを周知することも考慮し、ボランティア募集については、町民に限定しない。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の授業での活用が無理であれば、夏休みを使うなど、たくさんの方に現地に入ってもらい、わくわくするような体験をしてもらいたい。 ○ 現地を再生するためのツアーを参加費をとって開催したらどうか。 ○ 当該地を使った職業体験などはできないか。 ○ イベントや映画などに使うと良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校での利用、有料ツアー、職業体験などは、安全面や予算面、周辺への路上駐車等に配慮する必要があるため、平成25年度当初からの利用は難しい。 今後も将来構想を含め、検討課題とする。
<ul style="list-style-type: none"> ○ フェンス沿いに花を植えるなど、敷地を守るために手を打たないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ フェンス沿いの植栽については、花の確保や維持管理等を含め、既存事業の活用が可能か調整する。 また、その他の手法についても検討を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ○ メインとなる場所は、企業へ貸し出すことも良いと思う。 ○ A地区は維持管理、暫定利用ともに切り離して考えて良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業等への貸出については、ボランティアでの維持管理と並行して可能性を調査していく。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 柿等の果樹は、実がなるのか。植生の調査が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 果樹や樹木等は、維持管理の段階で植生調査や樹木医診断等の費用を捻出することはできないため、樹木医を含む有識者に相談等を行い今後の検討の参考にしていく。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路の整備が必要。暫定利用時であっても路上駐車対策は考えるべき。 ○ 維持管理においても最小限の駐車場の確保は、必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路整備及び路上駐車対策は、将来構想も含め大きな課題であり、今後も継続して検討する必要がある。 ただし、維持管理をしていく上でも路上駐車等については配慮する。 また、現在の敷地内通路北側については平坦で4～5台の駐車は可能であり、こちらを利用し維持管理を実施していく。
<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアを募る場合においても、スケジュールやカリキュラムを組んで計画的に実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 別紙スケジュール及び募集要領（案）を事務局案として作成したので、ご意見を伺いたい。